

第7号様式（第14条関係）

<p><b>1</b> 少量危険物貯蔵取扱所 設置（変更）届出書 指定可燃物貯蔵取扱所</p>	
<p><b>2</b> 年 月 日</p>	
<p>東京消防庁 <b>3</b> 消防署長 殿</p>	
<p><b>4</b> 届出者</p>	
<p>住所 電話 ( )</p>	
<p>氏名 印</p>	
貯蔵取扱所の所在地	<b>5</b> 電話 ( )
貯蔵取扱所の名称、 代表者名	<b>6</b>
類・品名 (指定数量)	<b>7</b>
最大数量	<b>8</b> $\begin{matrix} 0 \\ \text{kg} \\ \text{m}^3 \end{matrix}$ 指定数量の倍数又は条例 別表第7の数量の倍数 <b>9</b> 倍
貯蔵取扱所の位置、 構造、設備の概要	<b>10</b>
危険物又は指定可燃物の貯 蔵・取扱い方法の概要	<b>11</b>
消防用設備等	<b>12</b>
その他	<b>13</b>
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄
<p>備考1 届出者が法人の場合、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。 2 ※欄には、記入しないこと。</p>	

〔少量危険物貯蔵取扱所、指定可燃物貯蔵取扱所設置（変更）届出書の記入要領〕

1 届出区分

届出に係る区分以外を二重線で抹消します。

2 届出日

届出書を提出する日を記入します。

3 あて先

「東京消防庁 ○○消防署長」と記入します。

4 届出者

少量危険物・指定可燃物を貯蔵し、又は取り扱う者の住所、氏名を記入します。届出者が法人の場合は、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入してください。

5 貯蔵取扱所の所在地

貯蔵取扱所を設置又は変更しようとする場所の所在地を記入します。

6 貯蔵取扱所の名称、代表者名

貯蔵取扱所の所有者等が個人の場合は氏名を、法人の場合は事業所の名称と代表者の職・氏名を記入します。

7 類・品名（指定数量）

危険物の類及び品名、指定可燃物の品名を記入するとともに、化学名、通称名を併記します。書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙に記入してください。

【例】・第四類第2石油類（灯油）

・可燃性液体類（大豆油）

8 最大数量

1日のうちで、貯蔵又は取り扱う少量危険物・指定可燃物の最大となる数量を記入します。

9 指定数量の倍数又は条例別表第7の数量の倍数

最大数量に記入した数量をもとに、その倍数を記入します。

10 貯蔵取扱所の位置、構造、設備の概要

貯蔵取扱所の概要を簡記します。

【例】（屋外の場合）敷地南側隅、コンクリート地盤、排水溝により境界を明示する。

（屋内の場合）本館1階の北側ボイラー室、主要構造部は耐火構造。床面は浸透防止構造。

11 危険物又は指定可燃物の貯蔵・取扱い方法の概要

屋内貯蔵、屋外貯蔵、屋内タンク、屋外タンク、地下タンク、移動タンク等の施設形態と貯蔵・取扱い方法の概要を簡記します。

【例】・ドラム缶で貯蔵し、ウィングポンプにより容器への詰め替えを行う。

・屋内タンクから温熱ボイラーへ燃料を供給する。

12 消防用設備等

消防用設備等の種類と設置数を記入します。

【例】・粉末消火器（10型） 2本

13 その他

貯蔵又は取扱いを開始する予定年月日、設計者、施工者等の所在・名称・電話番号のほか、特異な事項等を記入します。

タンクにより貯蔵取扱いをする場合で、水張（水圧）検査が終了しているものは、検査機関、検査年月日及び検査番号を記入してください。